

☆他都道府県(市)の幸福度事例

自治体名	指標概要			目的	区分方法	性格・内容	政策・施策評価との関連	備考
	指標名	指標数						
○主観的指標による幸福度の事例								
熊本県(H24-)	県民総幸福量(AKH [Aggregate Kumamoto Happiness])	12	県政の基本理念である「県民総幸福量の最大化」の考え方を県民と共有し、効果的な施策につなげるため	○県計画において4つの幸福施策を設定 ※「夢を持っている」「誇りがある」「経済的な安定」「将来に不安がない」 ○幸福施策に紐付けて、12の幸福要因(指標)を設定	○主観的指標のみ ・県民アンケートにより満足度を5段階で回答 ・4つの幸福施策ごとに小計を算出、その後、併せて県民から回答を求めた4施策のウェイトにより、県民総幸福量(AKH)を算出	参考として活用	○ 県民総幸福量は横ばい ○客観的指標による政策・施策の評価は別途実施 ○今後、県の政策と深く関係するアンケート調査のなかで、県民総幸福量と県民生活の関連性を把握する予定	
三重県(H24-)	幸福実感指標	15	県政の基本理念である「幸福実感日本一」をめざし、政策分野ごとに、数値目標のほか幸福実感指標を設定し推移を把握することで、全体としての進行管理に努める	○県計画における15の政策分野ごとに幸福実感指標を設定	○主観的指標のみ ・県民アンケートにより分野ごとの実感を5段階で回答	計画全体としての進行管理に活用	○客観的指標による政策・施策の評価は別途実施。その際、幸福実感指標を用いて、県民の実感と乖離がないかチェックを実施。 ○ 施策の評価における幸福実感指標の考え方: ・ 県民の幸福実感は、幸福実感指標も含めさまざまな要素で構成されており、幸福実感指標の推移だけで取組を評価し、政策の方向性を判断することはできない	
○主観的指標と客観的指標を組み合わせた幸福度の事例								
岩手県(R1-)	いわて幸福関連指標	82 ※客観的指標12 ※県民アンケート	県民の幸福度の向上に向けた取組を着実に推進していくため	○県計画において、一人ひとりの幸福を守り育てる取組を展開する10の政策分野を設定 ※「健康・余暇」「家族・子育て」「教育」・・・ ○10の政策分野に紐付けて、客観的指標82項目と県民アンケートによる12項目を設定	○客観的指標及び主観的指標を併用 ＜客観的指標＞ ・政策分野ごとに幸福に関連する指標項目を選定するとともに、現状値と目標値を設定し、毎年、達成状況を評価 ＜主観的指標＞ ・政策分野ごとの実感(分野別実感)を県民アンケートにより算出し、基準年と比較して低下している場合には、当該政策分野の総合評価を一段階落とすなどにより、政策評価へ反映	政策評価として活用	○その他、主観的幸福感(「あなたは現在のどの程度幸福を感じていますか」という設問に対し、5段階で回答)についても算出し、経年変化を表示	
京都府(H23-H30)	京都指標	44 ※統計データ48 ※府民アンケート	県計画に掲げた施策指標の達成状況について以下の観点で点検するため ・「府民のしあわせの実感」という本質的な目標にかなっているか ・府政運営の方向性が府民意識とかけ離れたものになっていないか	○府計画において3つの新しい政策の方向性を設定 ※「府民安心の再構築」「地域共生の実現」「京都力の発揮」 ○3つの政策方向性に紐付けて、統計データ44項目と府民アンケートによる48項目を設定	○客観的指標及び主観的指標を併用 ＜客観的指標＞ ・ 全国比較が可能な統計データのみ採用 ・ 統計データの平均全国順位について、3つの政策方向性の区分及び全体で算出 ＜主観的指標＞ ・目指す社会の状況により近い選択肢を選んだ人の割合の平均について、3つの政策方向性の区分及び全体で算出	施策の達成状況の点検などに活用		
○客観的指標による幸福度の事例								
新潟市(H20)	NPH [Net Personal Happiness]	30	○新潟市民の「幸福度」の評価 ○全国17政令指定都市との比較	○3つのライフステージごとに「目指すべき姿」を設定 ※「成長期」「壮年期」「高齢期」 ○「目指すべき姿」に紐付けて、30の客観的アウトカム指標を設定 ※分析のため、30のインプット指標も同時に設定	○客観的指標のみ ・ 指標ごとに17政令指定都市の順位付けと点数化(1位:100点、2位:95点・・・17位:20点)を実施 ・ 3つのライフステージごとに17政令指定都市の得点を集計、新潟市の相対的ポジションを確認するとともに、課題を分析	不明	○客観的指標のみとする考え方: ・ 幸福感は個々人の主観によって異なるものであり、すべての要素を完全に定義することは困難 ・ 「目指すべき姿」は人々が幸福であるための必要条件であり十分条件ではない	